



特別展
**多摩川の
 アユのみ**

**2月4日(土)~
 3月12日(日)**

府中市の南端を流れる多摩川に生息する代表的な魚がアユ(鮎)です。江戸時代には、とれたアユが一級品と評価されて市場に流通していました。将軍に献上されていたことも知られています。さらに、昭和初期までは「見せる漁」として、アユ漁を主軸とした観光産業も盛んでした。水質汚染や水量減少などによる環境の変化で、その数は減った時期もありますが、近年では再び増加しており、現在でも多摩川を代表する魚と言えるでしょう。

本展示会では、そんな多摩川とアユに視点を定めました。江戸時代以降におけるアユ漁に関連する歴史や、アユのために使用した漁具などとともに、生態系や環境の変化も含めて、多摩川とアユのかかわりを多角的に紹介します。

関連企画

○ 記念講演会 3回連続

日時：2月11日(土・祝)
 民俗「多摩川アユ漁の移り変わり」と観光
 2月18日(土)
 歴史「多摩川アユの江戸時代」
 2月25日(土)
 自然「多摩川アユの減少と復活」
 各回とも14:00~16:00

講師：当館学芸員 NPO法人多摩川センター

会場：博物館本館1階大会議室

定員：60人

参加費：1,000円(3回通し)

往復はがきに住所、氏名、電話番号、返信用宛名を明記の上
 1月24日(火)までに下記宛先へ。(当日消印有効)

※応募者多数の場合は抽選となります

〒183-0026 東京都府中市南町6-32

府中市郷土の森博物館「記念講演会」係

○ アユかご(竹細工)製作実演

日時：2月11日(土・祝)、2月18日(土)
 10:00~12:00 13:00~15:00

場所：本館1階エントランスホール

実演：関田徹也氏(竹細工職人)

アユかご



企画展

ちよつとむかしのくらし **その5**

今ではあまり見るのがなくなりましたが、ちよつとむかしには普通に使われていた生活道具を紹介し、くらしの移り変わりをたどります。



会期 **開催中~3/19(日)**

会場 **本館2階 企画展示室**

歳時記展
ひな人形 2/4(土)~3/16(木)
 府中市内の家々で明治から昭和にかけて飾られていた、様々なひな人形を紹介します。
 会場：本館2階常設展示室、旧島田家住宅、旧郵便取扱所